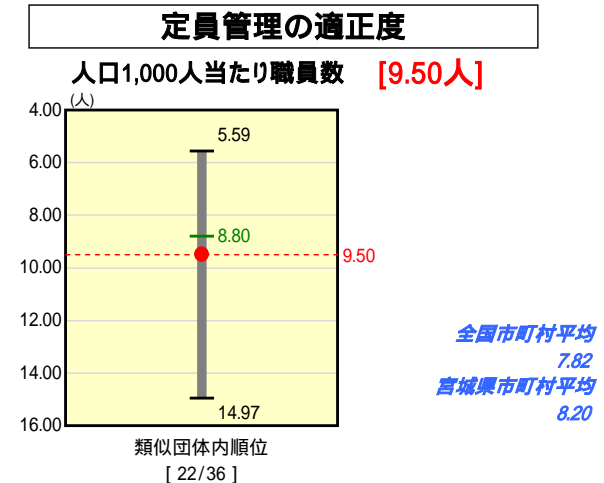
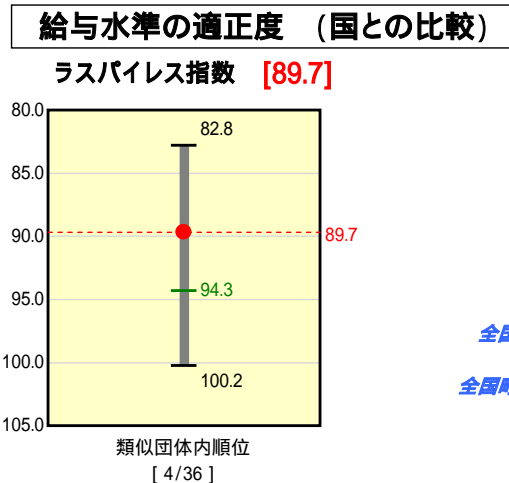
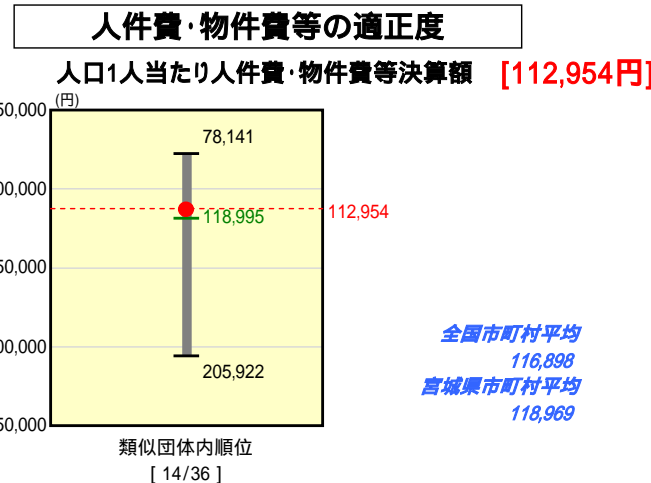
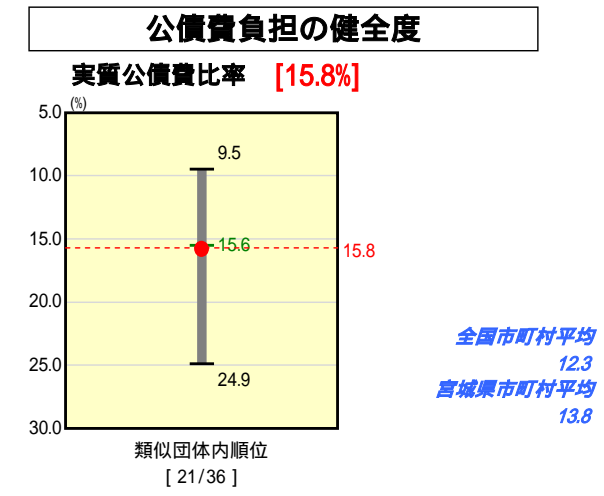
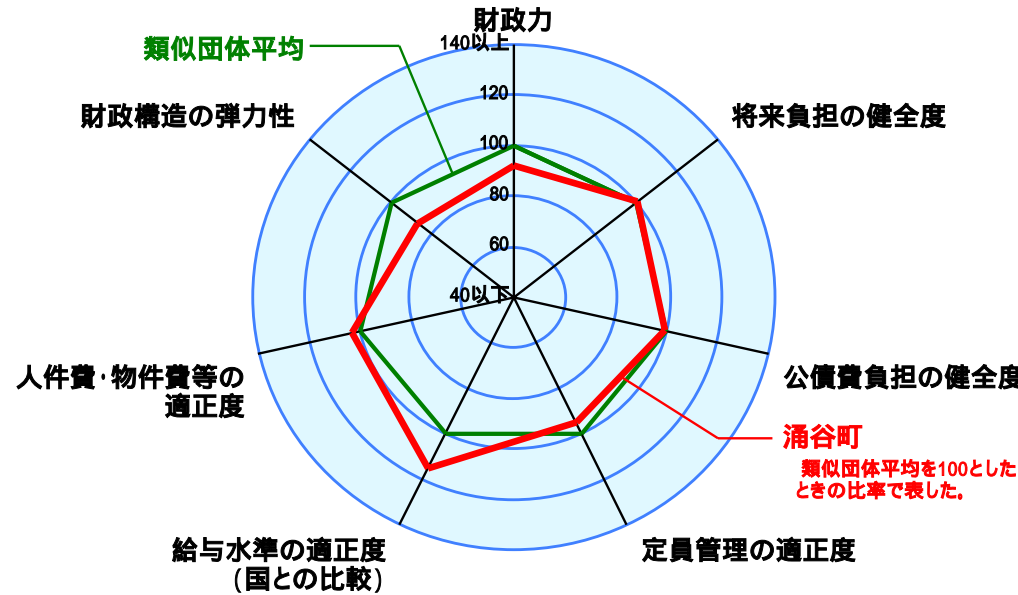
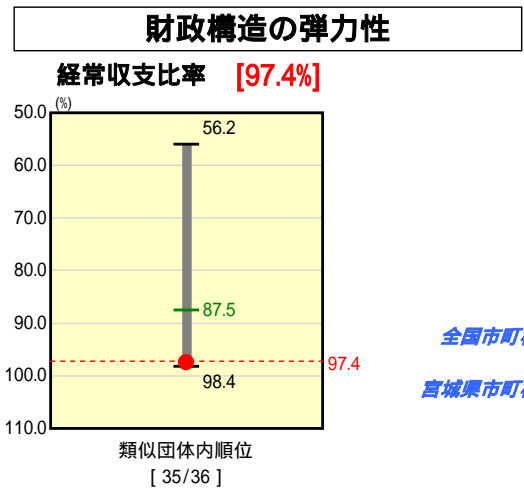
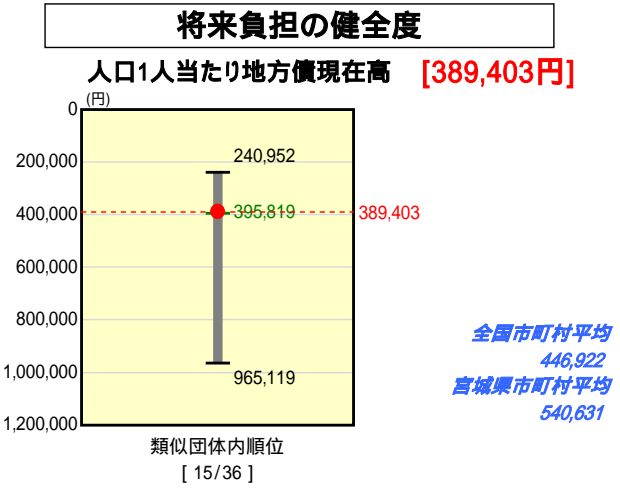
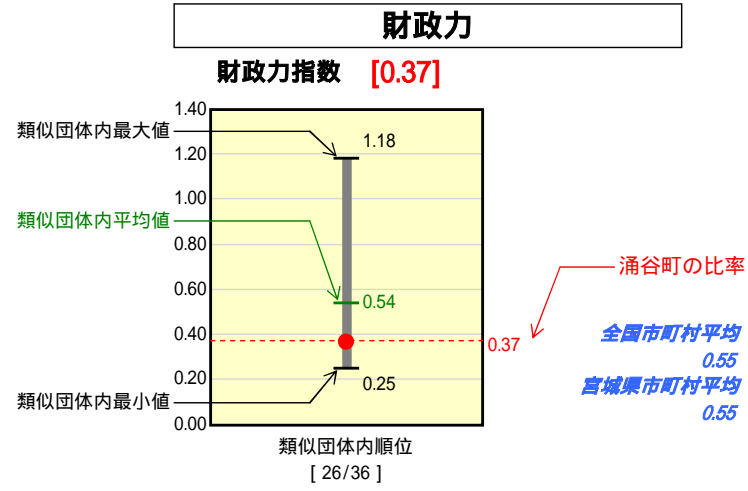


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

宮城県 涌谷町

人口	18,216人	(H20.3.31現在)
面積	82.08	km ²
歳入総額	6,119,604	千円
歳出総額	6,032,780	千円
実質収支	86,824	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスバイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
依然として人口減少や長引く景気低迷等による税収入の減収傾向が続いており、類似団体平均を大きく下回っている。それらの状況を踏まえ、人口増加や安定的な税収入を確保するため企業誘致等による雇用の場の確保を積極的に推進し、税収につながる産業構造の確立を図り財政基盤の強化を図る。

経常収支比率
前年度に対し2.9%の上昇で類似団体平均と比較しても大きく上回っており、財政の硬直化が一層進んでいる状況となっている。今後も地方債の発行を抑制するなど義務的経費の削減に努めるとともに、徴収率の向上や各行政サービスについて受益と負担の見直しを図り、経常一般財源の確保に努め安定した財政運営を目指す。

人口1人当たりの人件費・物件費等決算額
類似団体平均よりも低い水準となっているが、引き続き適正な水準を維持するよう努める。

ラスバイレス指数
類似団体平均よりも低い水準となっているが、引き続き給与水準の適正化に努める。

人口1人当たり地方債現在高
地方債現在高は減少傾向にあり、類似団体平均よりも下回っている。今後も引き続き地方債の計画的な発行による抑制を行い、将来の負担が荷重とならないよう努める。

実質公債費比率
類似団体平均をやや下回る水準となっているが、引き続き地方債発行の抑制に努めるとともに、公営企業に係る公債費の平準化を図り、繰出金の抑制に努める。

人口1,000人当たりの職員数
町立病院及び老人保健施設を運営していることなどから、類似団体平均を上回っている。事務の効率化の推進や退職者に対する新規職員の不補充などにより、平成22年度までに5.7%の削減率を目標に定数管理を進める。